

和歌山病院健康フェア

13日 ロマンシティで開催

独立行政法人国立病院として、医療と保健、院機構和歌山病院は13日、福祉、健康に関する意識を高めてもらうこと、オークフロマンシティ御坊店1階東側エと、年2回開催。今回レベーターホールで健康フェアを開く。地域に開かれた病院

剤師、禁煙支援委員による相談コーナー、パネル展示などがあり、福祉と介護に関する相談にも対応する。

身体測定や相談コーナー

和歌山病院健康フェアにぎわう

独立行政法人国立病院機構 和歌山病院

国立療養所和歌山病院は13日、オークフロマンシティ御坊店で、健康フェアを開いた。

午前10時のオープン前から買い物客ら大勢の人が集まり、南方良章院長のあいさつの後、5分前倒しして開始した。

身体測定では、身長や体重、血圧、体脂肪、酸素飽和度、骨密度と、肺や血管の年齢を測定。参加した人らは列をなして順番を待ち、一つひとつ測定を受けてデータ表を測定数値で埋めていった。

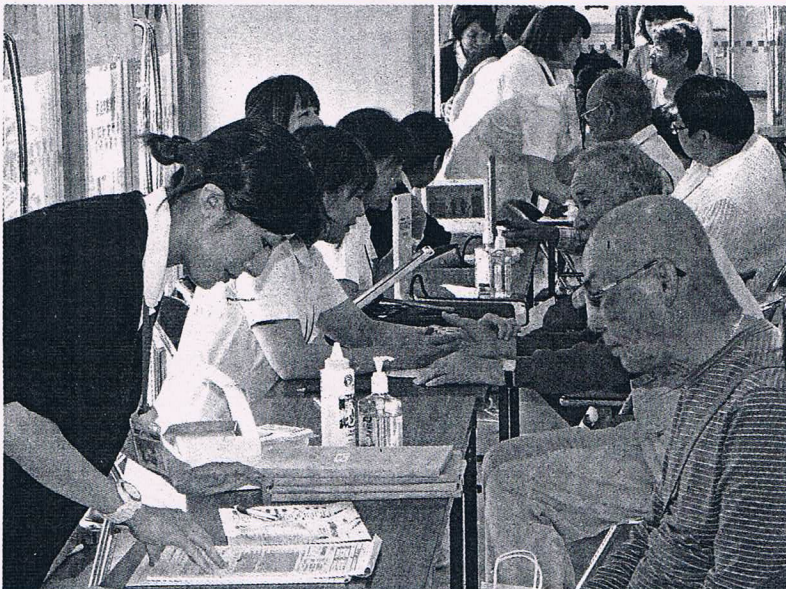
相談コーナーでは、看護師や禁煙支援委員、栄養士、薬剤師、臨床検査技師など専門家が、栄養や薬剤、禁煙、福祉・介護について相談を受けた。

禁煙指導や閉塞性肺疾患

患、睡眠時無呼吸症候群、肺がん、乳がんなどのパンフレットも配布した。

由良町里の村田岑生さん

(77)は、昨年に続いて2度目の参加。昨年のデータ表を持参し、昨年の数値と比べながら測定を受け「去年は骨密度の数値があまりよくなかった。1年間治療を受けてきて、わずかによくなったかな。下がってはなかった」などと話していた。



測定を受ける参加者ら